

事業シート(令和8年度予算)

事業名	71100 道路河川等整備推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画		
					款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり			
					項	1	土木管理費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約		強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 便利で強い社会基盤を整備します
					目	1	土木管理費			施策分野	(4)	道路・河川			
担当課	建設部 建設課		内線	2321											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・国、県道の整備促進により、市道を含めた幹線道路網を構築し、便利で快適な道路利用を図る。 ・河川の整備促進により、災害から市民の生命財産の保護を図る。	概要	・同盟会等を活用し、事業主体である国及び県等に対して、事業促進に向けた要望や提言活動を実施
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6		R7			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		3,789	3,693	3,591			
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他 ()						
一般財源		3,789	3,693	3,591			
新規・拡充	主な事業内容						
	各種同盟会への負担金	3,339	3,251	2,971			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・道路等社会基盤の整備促進に向け、国、県等へ23回(7月～3月)要望書を提出し、事業促進を提言した。 ・飛騨地域3市1村で豪雪による除雪費に関する要望を国、県へ実施した。
評価等	・飛騨地域3市1村の首長による効果的な要望活動を行うとともに、同盟会負担金の低減を図った。
次年度以降の考え方 (担当課)	<div><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定</div> <div>・社会基盤の早期整備に向け、関係機関と連携した要望や提言活動の実施に努める。</div>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	<div><input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定</div>

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額	(千円)
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
3,515			△ 76
3,515			△ 76
要求額	説明		
2,895			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・国等の道路及び河川等の整備促進に必要な経費を計上
---------------------	---------------------------

財務部 査定の 考え方	
市長査定の 考え方	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	72300 ～ 道路新設改良事業費 72370			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	橋りょう長寿命化修繕計画、過疎地域持続的発展計画
					款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり		
					項	2	道路橋りょう費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 便利で強い社会基盤を整備します
					目	3	道路新設改良費			施策分野	(4)	道路・河川		
担当課	建設部 建設課			内線	2328									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市道の安全性と信頼性を高めるとともに、機能的な地域内道路網を確保し、道路利用者の利便性と快適性の向上を図る。	概要	・道路の新設、拡幅改良、歩道設置 ・橋りょうの架け替え、耐震補強、長寿命化修繕 ・道路用地の取得
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
耐震、長寿命化対策実施橋りょう数(累計)	127橋		150橋
「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じている市民の割合	68.3%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6		R7			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)－(a)
		444,520	395,790	290,030			
特定財源	国費 (道路整備事業費 5.5/10、5/10)	228,100	191,250	149,750			
	県費 ()						
	その他(地方債、公共施設整備基金繰入金)	132,800	130,800	110,000			
一般財源		83,620	73,740	30,280			
新規・拡充	主な事業内容						
	道路改良・道路舗装・側溝改良	53,440	51,331	28,500			
	橋りょう長寿命化改良	156,583	117,802	110,000			
	旅行村線	233,077	225,336	150,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額	1,252,000
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)－(c)
508,862			218,832
230,246			80,496
55,600			△ 54,400
223,016			192,736
要求額	説明		
160,292	名張上切線 ほか		
170,200	不動橋 ほか		
176,720			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・橋りょう長寿命化修繕計画(Ⅱ期)に基づき、長寿命化修繕及び耐震対策工事を実施した。 徳野橋ほか ・道路新設工事を実施した。 旅行村線 ・道路改良工事を実施した。 名張上切線ほか ・測量設計業務、用地測量業務、不動産鑑定業務を実施した。 ・道路整備に必要な用地取得、物件移転補償を実施した。
評価等	・新たな事業については事前評価を行い、投資効果や整備手法などを十分検討したうえで実施する必要がある。 ・コスト縮減にあたっては、初期整備に係る経費だけでなく、整備後の維持管理や将来的な更新なども含めた総合的な視点をもって取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<div><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定</div> <div>・将来の費用を軽減する橋りょうの老朽化対策を計画的に推進する。 ・地権者との交渉を継続して行うとともに、引き続きコスト縮減を図りながら、計画的な事業推進(重要度の高い施設の優先的整備)を図る。</div>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<div><input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定</div>

担当課 予算要求 ポイント	・橋りょうの長寿命化、道路の整備推進に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------

財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	72390 県営土木事業負担金				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	
						款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり		
						項	2	道路橋りょう費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 便利で強い社会基盤を整備します
						目	3	道路新設改良費			施策分野	(4)	道路・河川		
担当課	建設部 建設課			内線	2321										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・国、県道の整備促進により、市道を含めた幹線道路網を構築し、便利で快適な道路利用を図る。 ・急傾斜地等の整備促進により、災害から市民の生命財産の保護を図る。	概要	・市内において、県が実施する事業への受益者負担の支出
----	---	----	----------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6		R7			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		81,000	75,875	75,000			
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他 ()						
一般財源		81,000	75,875	75,000			
新規・拡充	主な事業内容						
	県営土木事業負担金	81,000	75,875	75,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・県営土木事業負担金 高山土木事務所管内 一般国道156号(莊川町地内)、一般国道361号(高根町地内)、都市計画道路花里本母線(花里町地内)、都市計画道路松之木下林線(桐生町地内)、急傾斜地崩壊対策事業(三福寺町・中切町・松倉・久々野地内)他 古川土木事務所管内 主要地方道国府見座線(国府町・上宝町地内)、一般県道古川宇津江四十八滝国府線(国府町)、一般県道谷高山線(国府町)、急傾斜地崩壊対策事業(奥飛騨温泉郷地内)他
評価等	・事業進捗については、県の予算配分等に左右されるため、管内の予算確保に向けた取組みを進める必要がある。
次年度以降の考え方 (担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額	78,000
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
78,750			3,750
78,750			3,750
要求額	説明		
78,750			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・県営土木事業の整備促進に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------

財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	74300 ～ 街路整備事業費 74313				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	
	款	7	土木費	ポイント		(2)	快適で安全な環境づくり								
	項	4	都市計画費	分野別		政策分野	3	都市基盤・防災・景観		市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 便利で強い社会基盤を整備します				
	目	2	街路事業費			施策分野	(4)	道路・河川							
担当課	建設部 建設課			内線	2328										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山駅周辺及び内環状線を構成する都市計画道路において、歩車道分離による歩行者の安全確保と車道部の2車線化による快適な通行の確保を図る。 ・無電柱化事業により、駅周辺の良好な景観形成と大規模災害時の電柱等の倒壊による道路の寸断を防止する。	概要	・道路の新設 都市計画道路 松之木千島線 ・道路の拡幅改良、歩道設置 都市計画道路 西之一色花岡線
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
都市計画道路(市道部分)の整備率	57%		—
「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じている市民の割合	68.3%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6		R7		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		785,340	472,238	1,971,760		増減 (b)－(a)
特定財源	国費 (街路整備事業費 5/10)	369,104	189,754	984,250		
	県費 ()					
	その他(都市計画税、公共施設整備基金繰入金)	305,620	178,424	925,250		
一般財源		110,616	104,060	62,260		
新規・拡充	主な事業内容					
	都市計画道路松之木千島線(松之木～江名子間)	768,760	459,267	1,873,100		
	都市計画道路松之木千島線(県道～国道41号間)			53,000		
	都市計画道路西之一色花岡線	16,000	12,511	45,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・都市計画道路松之木千島線(千島工区) 道路改良工事を実施した。 踏切改良詳細設計修正業務を実施した。 道路整備に必要な物件移転補償を実施した。 (松之木～江名子工区) 道路新設工事を実施した。 トンネル積算業務、建物影響調査業務、水文調査業務、補償調査業務、不動産鑑定業務を実施した。 道路整備に必要な用地取得、物件移転補償を実施した。
評価等	・財源確保に向けて国・県等へ積極的に要望を行い、計画的な事業推進に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<div><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定</div> <div>・地元や関係機関との調整を図り、早期整備に向け、計画的な事業進捗を図る。</div>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<div><input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定</div>

4.令和8年度予算編成(Action)

(千円)

R8予算		実施計画額	3,446,000
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)－(c)
3,691,958			1,720,198
1,836,605			852,355
508,740			△ 416,510
1,346,613			1,284,353
要求額	説明		
2,850,268			
267,050			
573,900			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・都市計画道路の整備に必要な経費を計上
---------------------	---------------------

財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	74400 中部縦貫自動車道等推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画		
					款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり			
					項	4	都市計画費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約		強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 便利で強い社会基盤を整備します
					目	3	中部縦貫自動車道等推進費			施策分野	(4)	道路・河川			
担当課	建設部 建設課	内線	2321												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・中部、関東、北陸圏域への人、物の移動を円滑にし、快適で利便性の高い暮らしや産業の活性化等を図る。	概要	・同盟会等を活用し、事業主体である国及び県等に対して、事業促進に向けた要望や提言活動を実施 ・長野県の関係自治体と連携し、建設促進に向けた要望や提言活動を実施 ・民間推進団体の建設促進に向けた要望活動や市民への啓発活動に対し、補助金を交付 ・事業箇所の住民説明会の開催及び国、県と事業関係者との事業調整など事業促進に向けた協力
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6		R7		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		3,270	3,235	41,070		
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)			20,000		
一般財源		3,270	3,235	21,070		
新規・拡充	主な事業内容					
	中部縦貫自動車道(高山～平湯間)の整備促進	3,270	3,235	41,070		
	石浦バイパス(宮高山バイパス)の整備促進					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・中部縦貫自動車道(高山IC～丹生川IC)間の一部で改良工事、橋りょう上下部工が施工された。 ・中部縦貫自動車道及び国、県道の事業促進に向けた要望活動を実施した。 ・事業主体である国、県が開催する地域住民への説明会や調査・測量立会へ参加、協力した。 ・中部縦貫自動車道(平湯～久手)の事業を進めるための地権者等調査を実施した。
評価等	・関係団体との活動内容の統合等による事務費の節減等について検討を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・整備促進に向け、関係機関と連携した要望や提言活動を今後も継続して実施する。 ・事業主体と協力した住民説明会の開催や事業調整、用地取得に向けた協力など、事業の促進を図る。 ・関係団体との活動内容の統合を行い、事務費の節減を図る。

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<div><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</div> <div><input type="checkbox"/> 拡大</div> <div><input type="checkbox"/> 縮小</div> <div><input type="checkbox"/> 廃止検討</div> <div><input type="checkbox"/> R6完了</div> <div><input type="checkbox"/> R7完了予定</div>

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額	394,800
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
424,850			383,780
424,850			△ 20,000
			403,780
要求額	説明		
417,250	中間IC整備等		
7,600	河川調査業務		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・中部縦貫自動車道等の事業促進に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------

財務部 査定の 考え方	
市長査定の 考え方	